

概要版

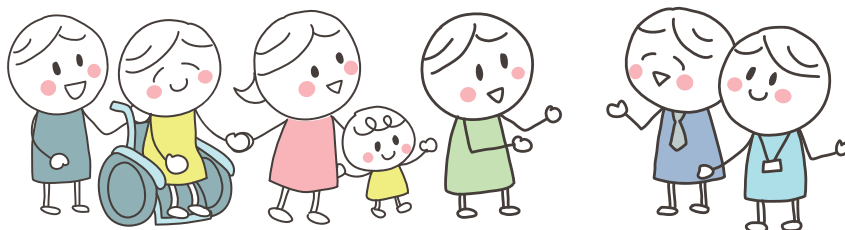
文京区 地域福祉 活動計画

令和2年度～令和5年度



地域住民や地域福祉関係者・関係団体などが、地域の課題を自分たちのものとして捉え、解決に向けての地域づくりに主体的に関わっていくための行動計画。

これが、文京区地域福祉活動計画です。



「文京区地域福祉活動計画」を具体的に推進するための指針となる基本理念を見直し、計画の実現のため3つの基本目標を定めました。

現在の課題

課題1

地域には様々な理由で孤立している人がいる



孤立していると困った時に相談する相手がおらず課題が深刻化する可能性があります。この状況は年代にかかわらず、誰にでも起こりえます

課題2

地域のニーズは多様化しており、家族や制度だけでは支えきれない時代となっている



従来の福祉関係者だけではなく新たな主体の参加や連携が求められています

課題3

地域だけでも専門職・公的機関だけでも対応が難しい生活課題がある



地域で生活課題を抱えた人に気付くことや、地域と専門職・公的機関の連携や協働がより一層求められています

基本理念

「お互いさま」が生まれるまち
 つながりをもつことで
 知り合い、伝え・伝わり、心を寛げ、

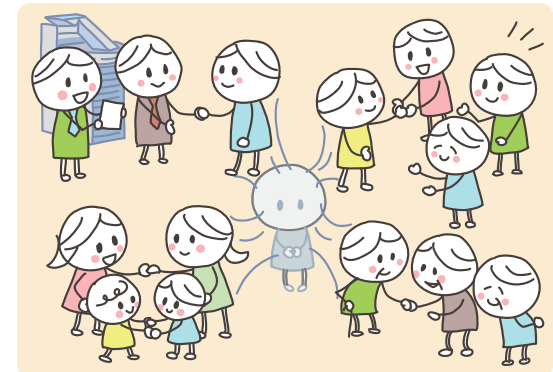


地域でつながりをもつために、お互いが知り合い、伝えること、そしてそれがお互いに伝わることを大切に、それぞれの違いを寛容な心で受け止め、支援する側、される側などの関係性ではない「お互いさま」が生まれるまちを目指していきます

基本目標

基本目標1

地域のつながりを大切にしたい取組が広がっている



- ・必要な人に必要な地域や福祉の情報が伝わっている
- ・自分から声をあげることが困難な人の早期発見ができ、災害などの緊急時にも役立つまもりがある
- ・人と知り合い、集うことのできる場が徒歩圏内に増えている

基本目標2

多様な主体が地域活動に参加し、連携している



- ・様々な地域活動に参加する人が増えるような環境が整っている
- ・地域に必要な活動が継続・発展し、様々なニーズに対応することができる
- ・新たな取組や発展的な活動を生み出すことができるよう、多様な主体同士がつながっている

基本目標3

生活課題がありながらも、地域で自分らしく暮らせる人が増えている



- ・様々な課題を抱えた人の存在に気付く人が増えている
- ・ひとりだけ、一つの活動、機関だけでは受け止めきれないニーズに、チームで取り組んでいる
- ・安心して安全な暮らしができるよう、多面的に支える仕組みが整っている

4年後このような地域を目指します

近所の人みんなで
集れる場所が
できたわよ。

家からあまり
出なくなって、
ちょっと
行きづらいわ。

あら。心配ないわよ。
みんな楽しんでるから。
一緒に行ってみない？

そうね。
行ってみよう
かしら。

困りごとをどこに
相談すればいいか
分からなかったから、
相談できて良かった。

こちらこそです。
連携機関と一緒に
動きますよ。

地域の活動を
やってきて良かった。
知らない事が
わかってきたし。

そうですね。
同じ思いの人とも
知りあえましたね。

感じたことを
地域のために
活かしたいですね。

ありがとう。
助かります。



文京区地域福祉活動計画(令和2年度～令和5年度)【概要版】

発行年月:令和2年4月

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目15番14号
文京区民センター4階

電話 03(3812)3040 **FAX** 03(5800)2966

ホームページ <http://www.bunsyakyo.or.jp/>

この計画の本編はホームページでご覧いただけます。

